再生の題字（森廸彦様提供）は、森信三先生の直筆です。

人間として最も意義ふかい生活は、各自がそれぞれ分に応じて報恩と奉仕の生活に入ることによって開かれる。

森信三先生一語千鈞より

師友道友の活動を綴る善行伝承誌

第0055号

2021.3月号

令和参年

実践人福岡仁風読書会

現代における孝の哲理

― マナコを閉じて親の祈り心を ―

森　信三先生　講述

実践人福岡仁風読書会　第51回　2月6日(土)

場所:福岡県糟屋郡志免町向ヶ丘2丁目4番3号　仁風庵にて

(実践人の家の会員であればどなたでも参加できます。

(参加費無料)　詳細は、世話人へお問い合わせください。

十一　現代における「孝」の実践への八ケ条

十善法語

このような人間としての根本大道を、仏教や儒学の教えを引用して懇切でていねいにお諭しくだされたのが、この「十善法語」であります。それ故ここで説かれている教えは、ひっきょうするに「人間は人間らしく、真の人間となれ」という大慈悲心をもって、われわれ人間の歩むべき根本大道を、しかも何人にもよく分かるようにお説き下さっているのであります。

たとえ如何ほどリッパな高層ビルといえども根本の基礎工事をおろそかに出来ないように、如何なる知者学者ないし高位高官にある人といえども、こうした人間としての根本地盤が粗末だったら、たちまちにして失墜没落の憂目をみることは、今日とても到るところにその実例の見られる通りであります。

主体性とは――

先ほども申したように孝の根本は、実に親に心を安んずるという一事に極まるわけであります。では親を安んずるには一体どうしたらよいかとなると、結局人としての大道を踏み外さないということでありましょう。つまり人間としての大道を踏み外さないということ、これが何よりも「孝」の道の眼目であり、その土台であります。ではそのように、人たる道をふみあやまらないためには、一体どうしたらよいかといえば、それには要するに主体性のある人間になることだともいえましょうが、では主体性の確立した人間となるには何が一バン大事かということが、とどのつまり問題となるわけであります。

ところがそれに対してお応えする前に、この主体性というコトバですが、主体性とは単に知的に物事の判断を誤らないということだけでなくて、正しい判断にもとづいて、それを実践して自己の責任を果たすという意味をも含んだコトバであります。随ってそこには、ひとり思考や判断の正しい作用らきだけでなくて、その上さらに意志の集中力とか持続的な実践力をもふくむのでありまして、これを一言にすれば、叡智と実践とが一如に溶け合った、生きた人格そのものを意味するわけであります。

それでは一体どうしたらこの様な人間として最も大切な主体的な人間になることが出来るかという問題ですが、実はこれこそが最後の、そして最重要な根本問題なわけですのに、この最重大な根本問題に対して、これまでの学校教育では、ほとんど全く答えられていなかったと申してもよいのであります。即ち戦後の新教育というものは、ある意味ではこの「主体性」を根本として唱えられて来たともいえましょうが、しかもそれに対する具体的な方策、即ち一体どうしたらこのような「主体的」な人間に対することが出来るか――というこの最後の止どめがせずに来たともいえましょう。そしてこれこそが、戦後三十余年もたった現在、家庭内暴力とか、学校内暴力として、戦後華やかに謳われて来たアメリカ式の新教育が、今や音を立てて崩壊しつつあるゆえんであります。

注)文中　作用らき＝(はたらき)とよんでおられます

ぐりいし先生　三十年後に望みをかけた教育

連載４７回

第三部　忘れせぬかも

岡部　重　著作

母のない子 (二)

生活も裕福でなく、姉は中学卒業したばかりで計理学校に行きながら、Oたちの世話をしていました。姉や兄にたいしては、とても従順のようでした。

この子の非行？は悪意からではなく、母親に対する愛情の代りとして、教師にそれを要するための手段であったように思います。現在は、すっかり落ち着いているようですけど、正常であるとは断言されない行動も、時には見えるようです。

部落でも近所の砥綿さん、金子さん、松沢さんなど、奥さん方が、親身になってお世話していただいた。

部落で親子遠足があり、Oが三年になった時、バス借切りで福岡見学に行ったことがある。子どもたちは大喜びで、母親と並んでイスにかけたが、母親のないOは、一番うしろのイスにひとり淋しそうにかけ、みんなの喜びを、まぶしそうに額の下からそっとのぞいては、又、外の景色に目を移していたというのである。これを見られた松沢君のお母さんは、我が子をおいて、何のためらいもなくOの横にかけられて、

「今日一日は、おばしゃんが、あんたの母ちゃんになろうな。」

と言われると、Oはやや考える風であったが、

「そうしたら、あんた方ン和弘君がさびしかろうもん。」

と言って遠慮したそうである。いたずら者と稍もすると白眼視されそうなOの心の中には、こんないぢらしい純情があるのかと、松沢さんはその純情にいっそう憐れを感じて、

「和弘君は、もう六年ぢゃけ、よか。」

と声をはげまして言って聞かせ、ぴったりと寄添ってイスに坐り、話しもされ、買物をしてやり、バスから降りても、手を握り合って歩き、手づくりの弁当も食べさせて下さったそうである。

見学が終わって家に着くといっしょに、

「姉ちゃん、今日は和弘君のおばしゃんが母ちゃんになってやんなったバイ。」

と大きな声で話しかけながら姉のそばに寄っていって、一日中のことを話してきかせたということである。そのことが、どんなに嬉しかったか、私にもわかるような気がする。

私はこのことを、町の婦人会の席で、挨拶がわりに、お話をし、我が町の平和をねがい、幸福をねがうならば、こうした不幸な子どもを、みんなして松沢さんのような暖い目で見、やさしい気持で包んでほしいと訴えたら、満場寂として声なく、秘かな決意が、ひとつひとつの顔に表れたようだった。幸に中牟田校ＰＴＡでは、いつのまにかこうした空気が出き、気の毒な子に対する思いやりが漲ったおかげで、非行の芽も摘みとられて来た。

それにしても、やっぱり、担任をはじめ、職員間の一致した思いやりが根源をなすのではないだろうか。自分の子さえよければよいというＰＴＡから、

ひとりの喜びはみんなの喜び
ひとりの悲しみはみんなの悲しみ

を地で行く学級、学校、ＰＴＡを作り上げたいものである。

第327回　博多駅早朝清掃　　28年目・・・

2月8日（月曜日）　　58名参加

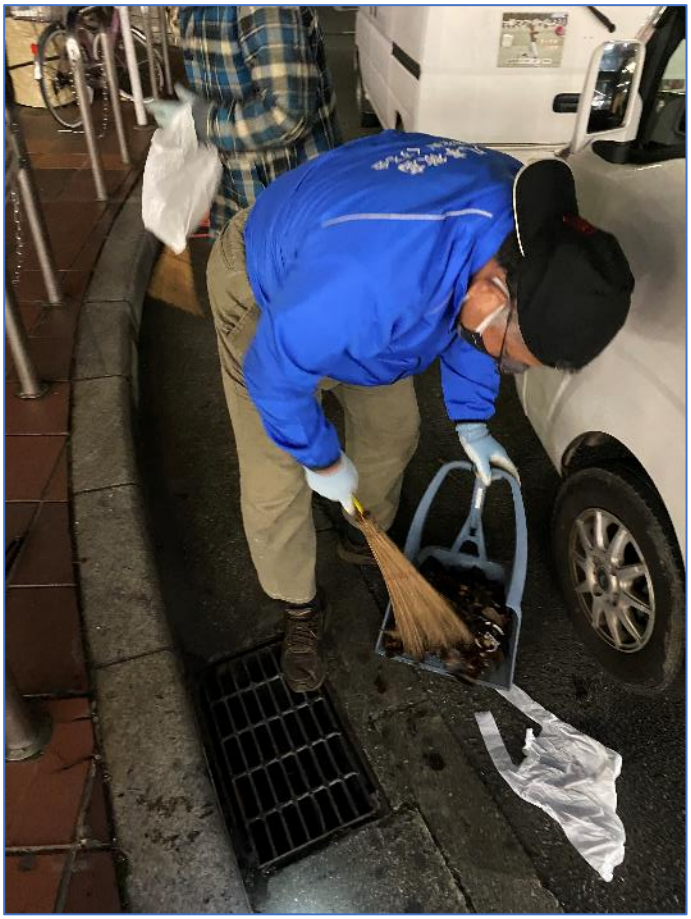
博多駅清掃に参加して3ヶ月めとなりました。写真に緑の帽子（左２人目）で写っているものです！
１つのゴミ(特に小さなゴミ)を見過ごしても、誰も何も言わない状況は、自分が試されていると置き換えられると感じています！小さな物事を見過ごすか、嫌な事から逃げずに対処するか。。
また、複数人で清掃してても他人の目には入ってこなかったゴミが自分の目には入ってくることに、人それぞれのゴミとの縁もあるなぁと感じてます。自分に拾われるためにここにあるんだ！みたいな(smile)
これからもいろいろな気付きを楽しみに参加させて頂きます！　　ＴＡＨＡＲＡ

大分から参加

初参加者

大学生の連絡発表

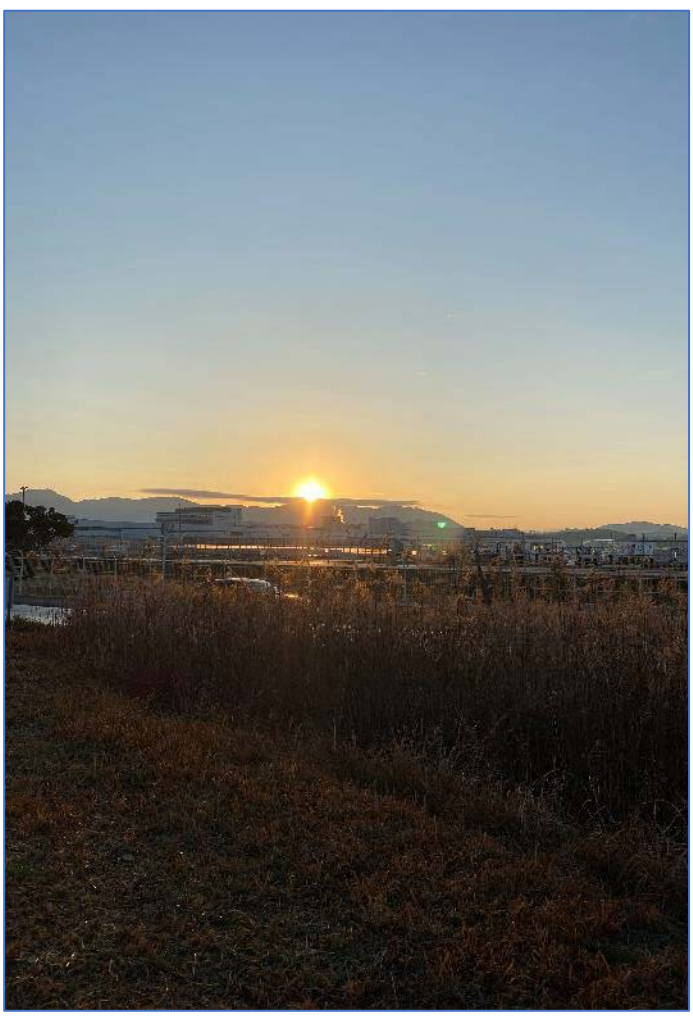
博多駅長



今日初めて参加させていただきました。
　初めて博多駅早朝清掃参加して、「ゴミを探すのが楽しい！」と思いました。
こんな感情生まれて初めてです。袋の中に少しづつゴミが溜まっていくのが楽しくて☺
下を向いて歩く博多駅、目を皿のようにしてゴミを探す私、67才にしての初体験でした。
早朝清掃のマジックにかかったみたいです👆
参加させていただいてありがとうございました❗

初参加者：由紀

今朝の福岡空港は
夜間の雨で濡れている所が
キラキラと輝いていました。
アスファルトの輝き✨
落ち葉の輝き✨
それぞれに異なる輝きを放っています
そんな輝きの中から
ちょっとだけ違う輝きを放っているのが
探し求めているゴミ(^^)
おかげ様で、楽しい宝探しの時間となりました。
ありがとうございました🙏　　MARIMARI



福岡空港ミリオン清掃に初めて参加させていただき、よく車で通る道でしたが、歩いたことがなかったのでとても新鮮でした。
最高の朝日も見ることができて、膨らんだゴミ袋の分だけ暖かい気持ちにさせていただきました。
おかげさまで朝から元気に一日をスタートできます、ありがとうございました！
TURUGA

耕作放棄地再生と清爽活動in酒殿2020.12.29~

2月13日（土曜日）

掃除をしていて、これほど幸せを感じた事はありませんでした。
磨けば磨くぶんだけ確実に輝いてくれる蛇口。その、誠実で謙虚な姿に感動せずにはいられませんでした。
駅トイレの蛇口として、ここに何年間も存在している間、何人もの人が水を求めてきたのでしょうが、文句ひとつ言わずに、好きなだけ水を与え続けてきたことを思うと、蛇口には感謝しかありません。
磨けば磨くほど幸せな気持ちになり、「**幸せは感謝すること**」だと、
蛇口に言われているような気がしました。
本日も新たな気づきをいただき、ありがとうございました🙏感動・気づき・工夫・謙虚・行動につながるトイレ掃除をご指導いただきありがとうございました！　　MARIMARI

新新塚駅早朝清掃/いいづか明星寺団地自治会

2月20日（土曜日）　6名参加

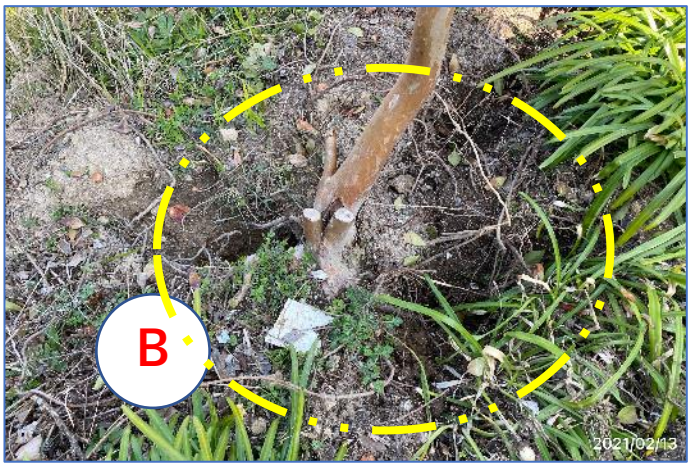
今日は新飯塚駅の早朝清掃に参加させていただきました。風がとても強く、袋が大暴れのお掃除でした(^ー^)
暖かいほうじ茶とお芋のデザートをいただいて、明るくなった帰り道をホクホクで帰りました。
おかげさまで、今日も良い一日になりそうです。
TURUGA

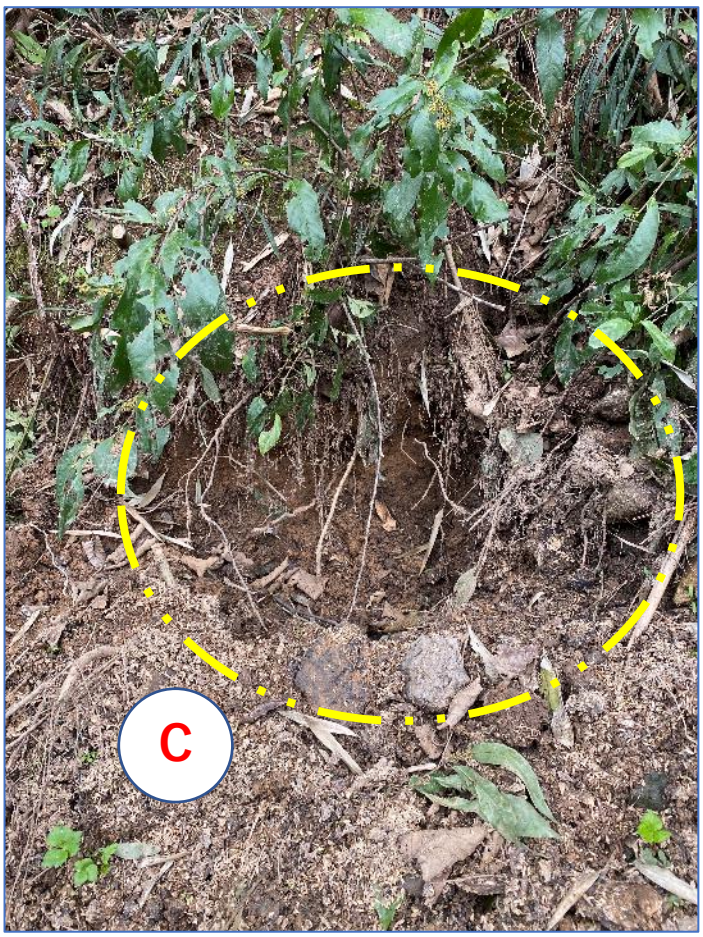
本日のお掃除は、前日に降った雪が溶けきれずに残っている新飯塚駅🚉寒さのおかげで五感が研ぎ澄まされるような感覚で始まりました。
ですが、コロナの影響でしょうか、ゴミの量も少なくのんびりとしたお掃除の時間となりました。
6：30からという時間は、夜から朝へと新たなエネルギーが生まれる様を体感できる、最高の時間帯です。ゆっくりと流れる時間の中で、素敵な方々と一緒に過ごせることに、改めて感謝です🙏
ありがとうございました。MARIMARI

福岡糟屋地区の耕作放棄地の再生をスピードアップするために新たに機械を導入しました。
これまで、一週間要していた作業を2時間で完了。
女性にも優しく、楽しく続けられる農業の仕組みを作り上げて行きたいと思います。
種を蒔きさえすれば誰でも収穫できる土作り。
農一筋40年の集大成！伝えられる人材があることに大満足です。　　楽農人：袈裟右衛門　拝

耕作放棄地再生に取組む農友支援

NPO法人　楽農人





<u>イノシシさんの侵入防止対策検証中</u>

Aの畑には柵で囲っていても、柵を壊し破り侵入していた1月中でした。周辺には掘削跡ⒷⒸが数多くあります。侵入防止対策（バイオ）範囲を拡大してイノシシさんの動向を観察したいと思います。

生命の林と人生　五二、　里山

021-2

光然京カルデラ

大倉山にあけられた堅孔や横孔は、里山と街をつないでいました。

子供の頃には里山という言葉は知らなかったので、ただの家の裏の山にすぎません。しかし、大倉山は典型的な里山でした。日本中に里山があって、横浜みたいな大きな都市ですら、そのはしっこには里山があったのです。

日本はどうして里山だらけだったのか。日本人の生活が、里山という基盤によって支えられていたからです。

里山には森がありました。この森の木は、焚き木であり、それがなくては調理もできないし、冬を越すこともできませんでした。里山はエネルギー源そのものでした。東京電力も東京ガスもなくて、森からすべてのエネルギーが供給されていました。同時に森は材木であり、建築材料でした。堆肥であり、肥料でもありました。

この森なしでは、農業すらできなかったのです。生活のすべてが里山に依存していたのです。里山なしでは、生きていけなかったのです。

工業化社会の中で、人々はこの里山のことを忘れてしまいました。エネルギーも材料も肥料も、すべて大都市からやって来るようになったからです。

里山を大事にする必要はなくなりました。里山の方を見ている必要はなくなりました。大都市の方だけ見ていれば、すべてが事足りるようになってしまったからです。

景山春樹の「神体山」(1971年)という本を学生の時に読んで、目を開かれましたが、具体的に里山とかかわるようになったのは、栃木県の馬頭町(現、那珂川町)に広重美術館を設計した時です。馬頭町にもまた、里山がありました。メインの街道と里山に分け入って神社に向かう参道が直交するのが、日本の集落の基本構造です。

馬頭町の中心を走る街道は、奥州街道でした。直交する参道の突き当たりが神社と里山です。「里山を大事にしろ」というのが、人々が神社に込めたメッセージです。

里山の森が失われたら、村の生活そのものが成立しなくなること、自分達が生き続けていけないことを人々はよくわかっていました。

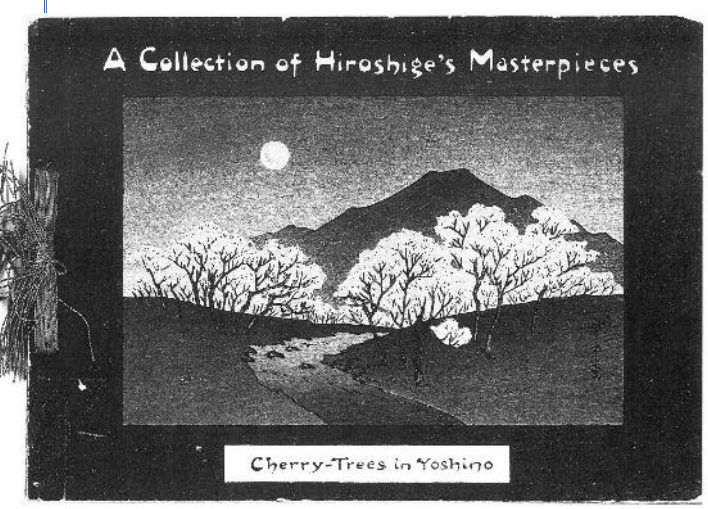
だから人々は、里山に神社を建てて、里山の自然を保全したのです。しかし馬頭町でも神社は忘れられていました。

だから僕は、広重美術館に、大きな孔をあけました。孔の向こうに神社が見えます。

孔は、神社と人間とつなぐ装置であり、里山と街をつなぐゲートです。美術館という建築を作ろうというより、孔を作って、街と山とをつなぐゲートです。美術館という建築を作ろうというより、孔を作って、街と山とを、もう一回つなぎ直したかったのです。

僕の場所より　隈研吾
発行所　大和書房　二〇一四年四月三〇日発行

二〇二一年二月二〇日
広葉の林を育てる会
興膳　丈治



再生三月号

令和参年三月八日発行（毎月一回八日発行）創刊 平成二十八年九月一日 発行人 冨吉 袈裟右衛門

	3 月の活動予定表									4 月の活動予定表								
日	6	7	8	13	14	20	21	27	28	3	4	8	10	11	17	18	24	25
曜	土	日	月	土	日	土	日	土	日	土	日	木	土	日	土	日	土	日
行事活動名	福岡空港ミリオン清掃 第34回	楽農人遊休農地再生楽交-inかすや	博多駅早朝清掃 第328回	JR酒殿駅早朝清掃 第3回	楽農人遊休農地再生楽交-inかすや	新飯塚駅早朝清掃	楽農人遊休農地再生楽交-inかすや	令和を巡る早朝清掃 第15回	楽農人遊休農地再生楽交-inかすや	福岡空港ミリオン清掃 第35回	楽農人遊休農地再生楽交-inかすや	博多駅早朝清掃 第329回	JR酒殿駅早朝清掃 第4回	楽農人遊休農地再生楽交-inかすや	新飯塚駅早朝清掃	楽農人遊休農地再生楽交-inかすや	令和を巡る早朝清掃 第16回	楽農人遊休農地再生楽交-inかすや
場所	福岡空港 周辺一万m	福岡県 宇美志免・粕屋	博多駅筑紫口	JR香椎線 酒殿駅北口	福岡県 宇美志免・粕屋	福岡県飯塚市新飯塚駅	福岡県 宇美志免・粕屋	福岡県太宰府市 戒壇院	福岡県 宇美志免・粕屋	福岡空港 周辺一万m	福岡県 宇美志免・粕屋	博多駅筑紫口	JR香椎線 酒殿駅北口	福岡県 宇美志免・粕屋	福岡県飯塚市新飯塚駅	福岡県 宇美志免・粕屋	福岡県太宰府市 戒壇院	福岡県 宇美志免・粕屋
開始時刻	6時30分	10時	6時15分	6時30分	10時	6時30分	10時	6時30分	10時	6時30分	10時	6時15分	6時30分	10時	6時30分	10時	6時30分	10時
運営団体	福岡清爽クラブ	福岡清爽クラブ 楽農人耕作放棄地再生楽校	福岡清爽クラブ	福岡清爽クラブ 楽農人耕作放棄地再生楽校	福岡清爽クラブ 楽農人耕作放棄地再生楽校	いいづか清爽クラブ	福岡清爽クラブ 楽農人耕作放棄地再生楽校	福岡清爽クラブ	福岡清爽クラブ 楽農人耕作放棄地再生楽校	福岡清爽クラブ	福岡清爽クラブ 楽農人耕作放棄地再生楽校	福岡清爽クラブ	福岡清爽クラブ 楽農人耕作放棄地再生楽校	福岡清爽クラブ 楽農人耕作放棄地再生楽校	いいづか清爽クラブ	福岡清爽クラブ 楽農人耕作放棄地再生楽校	福岡清爽クラブ	福岡清爽クラブ 楽農人耕作放棄地再生楽校

発行人（編集人）冨吉 袈裟右衛門

◇NPO法人福岡実践人 福岡清爽クラブ
◇一般社団法人 実践人の家 福岡仁風読書会
◇NPO法人 楽農人 耕作放棄地再生支援楽校

〈合同事務局〉 〒811-2247
福岡県糟屋郡志免町向ヶ丘2丁目4番3号 ≪仁風庵≫
TEL 092-931-8155（掃除） 931-8150（読書） FAX 092-931-8120
E－mail fukusoukai@souji.link（掃除）
kesa@rakunoujin.com（農業）

「再生」に掲載している写真は、冨吉が撮影・管理しています。必要な方は事務局までご連絡ください。